

日本語部

Japanese Language Ministry

2024年5月5日

シリーズタイトル: 変えられた人生

今週のタイトル: **法ではなく愛に目覚める**

ローマ人への手紙 13:8-14

リチャード・ヤング牧師

人を愛することは難しいときもありますが、神がすべてのクリスチャンに求めておられることです。感謝なことに、ローマ人への手紙 12〜16章の中の御言葉は、神に喜ばれ、愛によって特徴づけられるような、根本的に変えられた人生を送る方法について、多くのことを教えてくれています！

礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

教会からのお知らせ

申込先はこちらより: http://eepurl.com/dC_JaL

残念ながら、私たちは皆、神と隣人（クリスチャンとノンクリスチャン）に対する愛を示すとき、律法主義に陥る傾向があります。

このメッセージは、神が次のことについて、私たちに何を望んでおられるかを考える助けとなるでしょう。

1. 律法を愛の妨げにしない (13:8-9)
2. 隣人を愛し始める (13:10)
3. 正しく愛する機会に目覚める (13:11-14)

考えてみましょう：

1. 神の愛を得る必要がないかのように生きるなら、あなたの人生はどう変わるでしょうか？
2. 隣人を自分のように愛する機会にもっと「目覚める」ためには、何が必要でしょうか？
3. 聖霊は、あなたに愛してほしいと願っている特定の人を心に浮かべましたか？今日から、どのようにそれを始めることができますか？

ローマ人への手紙 13:8-14

8 互いに愛し合うことのほかは、だれに対しても借りがあってはなりません。人を愛する者は、律法を全うしているのです。9 「姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな」、そのほかどんな掟があっても、「隣人を自分のように愛しなさい」という言葉に要約されます。10 愛は隣人に悪を行いません。だから、愛は律法を全うするものです。

11 更に、あなたがたは今がどんな時であるかを知っています。あなたがたが眠りから覚めるべき時が既に来ています。今や、わたしたちが信仰に入ったころよりも、救いは近づいているからです。12 夜は更け、日は近づいた。だから、闇の行いを脱ぎ捨てて光の武具を身に着けましょう。13 日中を歩むように、品位をもって歩もうではありませんか。酒宴と酩酊、淫乱と好色、争いとねたみを捨て、14 主イエス・キリストを身にまといなさい。欲望を満足させようとして、肉に心を用いてはなりません。

ウィリンドン教会 同時通訳クイックスタート案内

事前に行う事及び持参するもの：

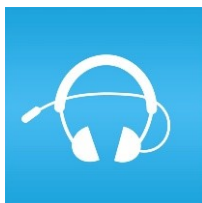
- ・ 自宅で手順 1 を実行します。
- ・ イヤホンをお持ちください。

(イヤホンは鍵かクレジットカードを通訳デスクに預けて借りることもできます)

要注意：周りの人たちに配慮しましょう。イヤホンをしないで携帯電話から聞くことは正しいことではありません。

注意：通訳ネットワークを使用している時にはインターネットに接続できません。

1、アップル App Store または Google Play ストアから「Listen Everywhere」をダウンロードします。



または、このQRコードをスキャンしてダウンロードしてください。



2、「ウィリンドン通訳」Wi-Fi ネットワークを選択してください。ネットワークに接続するためのパスワードはありません。

3、アプリを開き、言語を選択します。